eBASE株式会社
2013年3月期決算と
事業報告

当資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での弊社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではありません。
様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることを
ご承知おきください。

2013年５月22日

会社概要

- 会社名：　eBASE株式会社　（証券コード：3835）
- 設　立：　2001年10月
- 資本金：　190百万円
- 本社所在地：大阪市北区豊崎5丁目4-9 商業第二ビル
- 理　念：
  貢献なくして利益なし、利益なくして継続なし、継続なくして貢献なし

  社会から求められ、賛同を得られるサービスでないと利益を得ることはできない。
  利益を上げないと、そのサービスを継続し成長させていくことはできない。
  結果的に、継続した成長を提供できるサービスでないと社会貢献ができない。
- 事業内容：コンテンツマネージメントソフト「eBASE」の企画開発・販売・保守
- グループ会社：

  eBASE-NeXT株式会社：「eBASE」のクラウドサービス・データプールサービスの運用

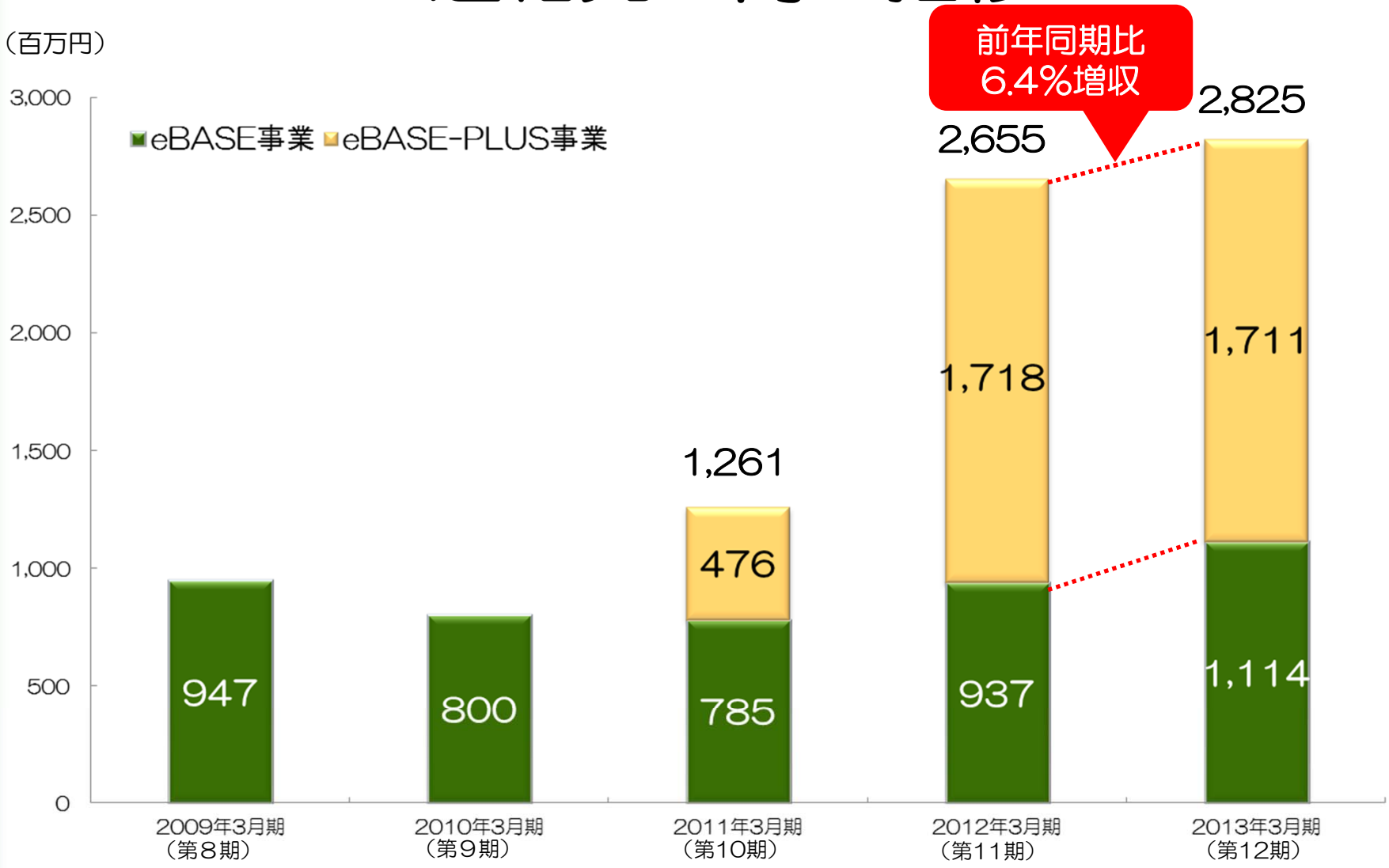
  eBASE-PLUS株式会社：「eBASE」の受託開発、受託オペレーション、受託サーバー保守
  ・IT開発アウトソーシングビジネス
- グループ総従業員数：　363名（371名/役職員含む）

（2013年3月現在）

２０１３年３月期通期決算
（2012年4月～2013年3月）

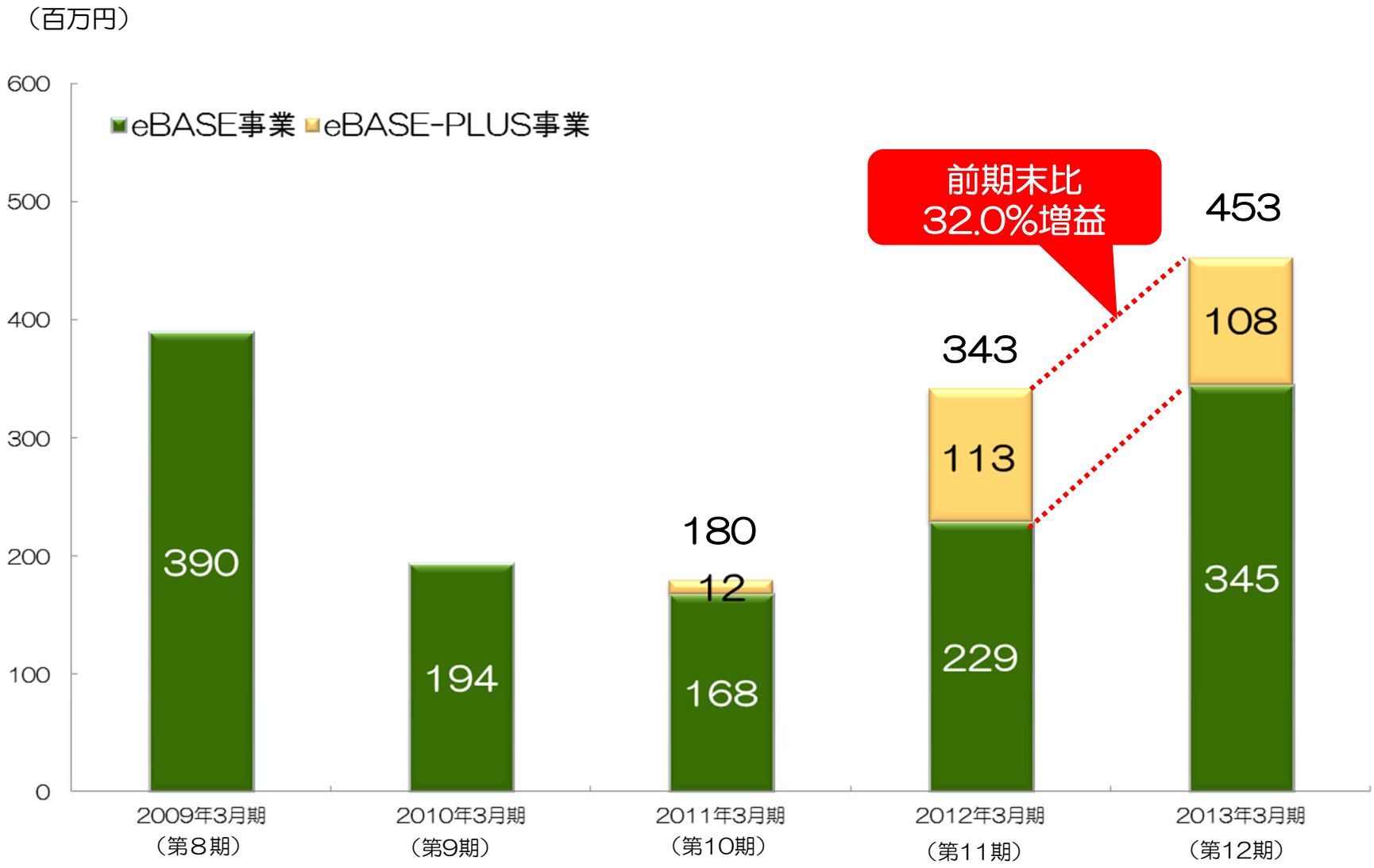
- 連結売上高の推移
- 連結経常利益の推移
- 連結業績の推移
- 連結貸借対照表

連結売上高の推移



（注）2011年3月期（第10期）第4四半期に連結子会社（eBASE-PLUS㈱）が事業譲受を行っております。
セグメント間取引については、相殺消去しております。

連結経常利益の推移



（注） 2011年3月期（第10期）第4四半期に連結子会社（eBASE-PLUS㈱）が事業譲受を行っております。
セグメント間取引については、相殺消去しております。

連結業績の推移

（単位：百万円）

	2009年3月期 （第8期）	2010年3月期 （第9期）	2011年3月期 （第10期）	2012年3月期 （第11期）	2013年3月期 （第12期）
売　上　高 (eBASE事業) (eBASE-PLUS事業) (セグメント間取引)	947 (947) (-)	800 (800) (-)	1,261 (785) (479) (△3)	2,655 (937) (1,737) (△19)	2,825 (1,114) (1,772) (△61)
営業利益	387	192	174	315	444
経常利益 (eBASE事業) (eBASE-PLUS事業) (セグメント間取引)	390 (390) (-)	194 (194) (-)	180 (168) (11) (1)	343 (229) (113) (0)	453 (345) (108) (0)
当期純利益	219	125	109	203	280

連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前期 （2012年3月末）	当期 （2013年3月末）	前期末比	
流動資産	1,235	1,391	156	現金及び預金127 受取手形及び売掛金30
固定資産	304	404	100	
（有形+無形資産）	（69）	（56）	（△13）	のれん△14
（その他）	（235）	（348）	（113）	投資有価証券＋112
資産合計	1,539	1,796	257	
流動負債	290	305	15	未払消費税等＋16
固定負債	1	1	0	
負債合計	291	306	15	
株主資本合計	1,242	1,482	240	利益剰余金＋238 （配当金支払 △42） （当期純利益の計上＋280）
新株予約権	2	3	1	
少数株主持分	4	5	1	
純資産合計	1,248	1,490	242	
負債・純資産合計	1,539	1,796	257	

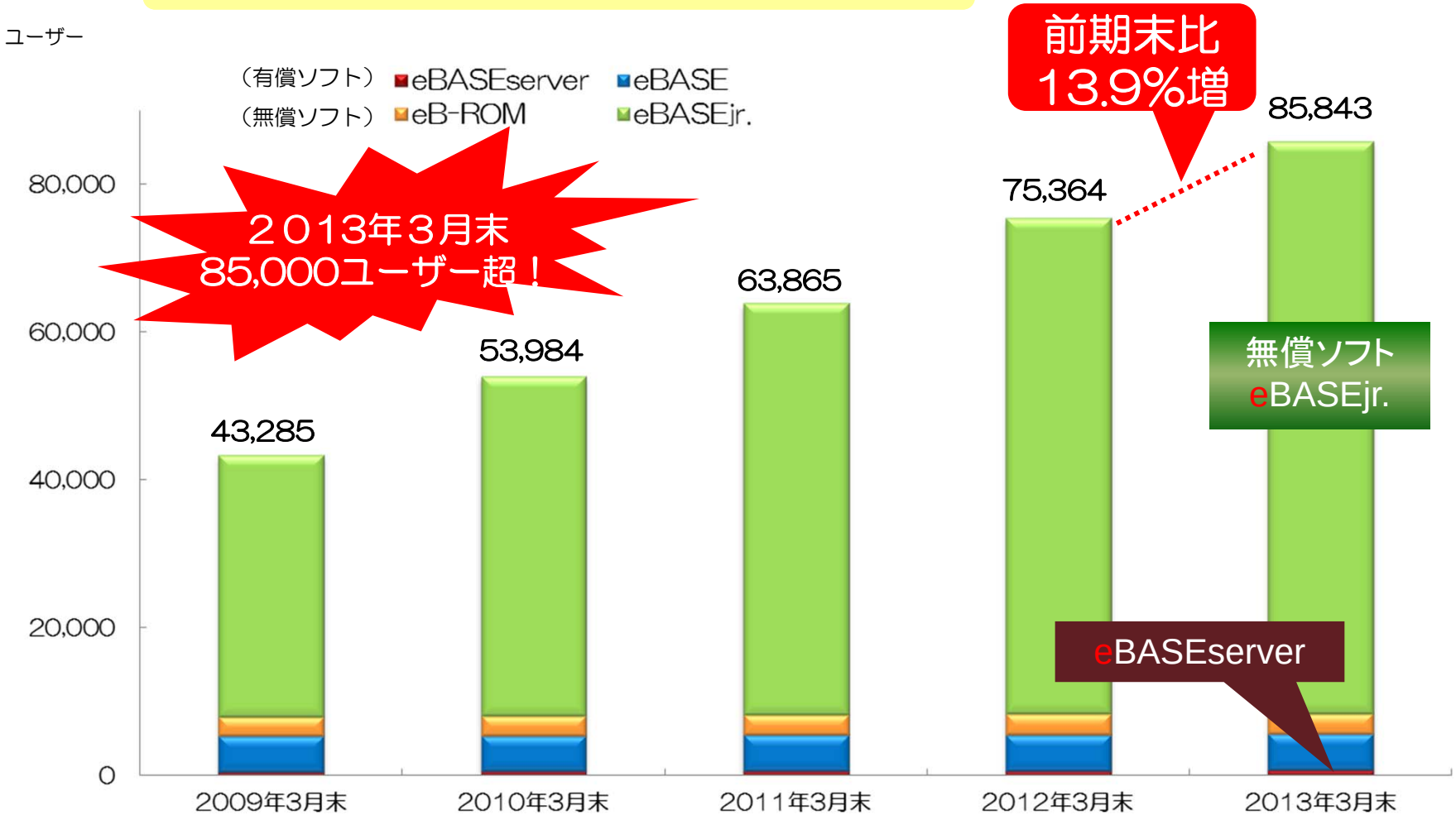
eBASE事業報告

- 製品ユーザー数の推移
- 業界別ユーザー数の推移
- 種類別販売実績の推移
- 業界別売上実績の推移
- 2013年度施策とその結果報告

製品ユーザー数の推移/eBASE事業

商品情報交換の標準プラットホームとして着実に普及！

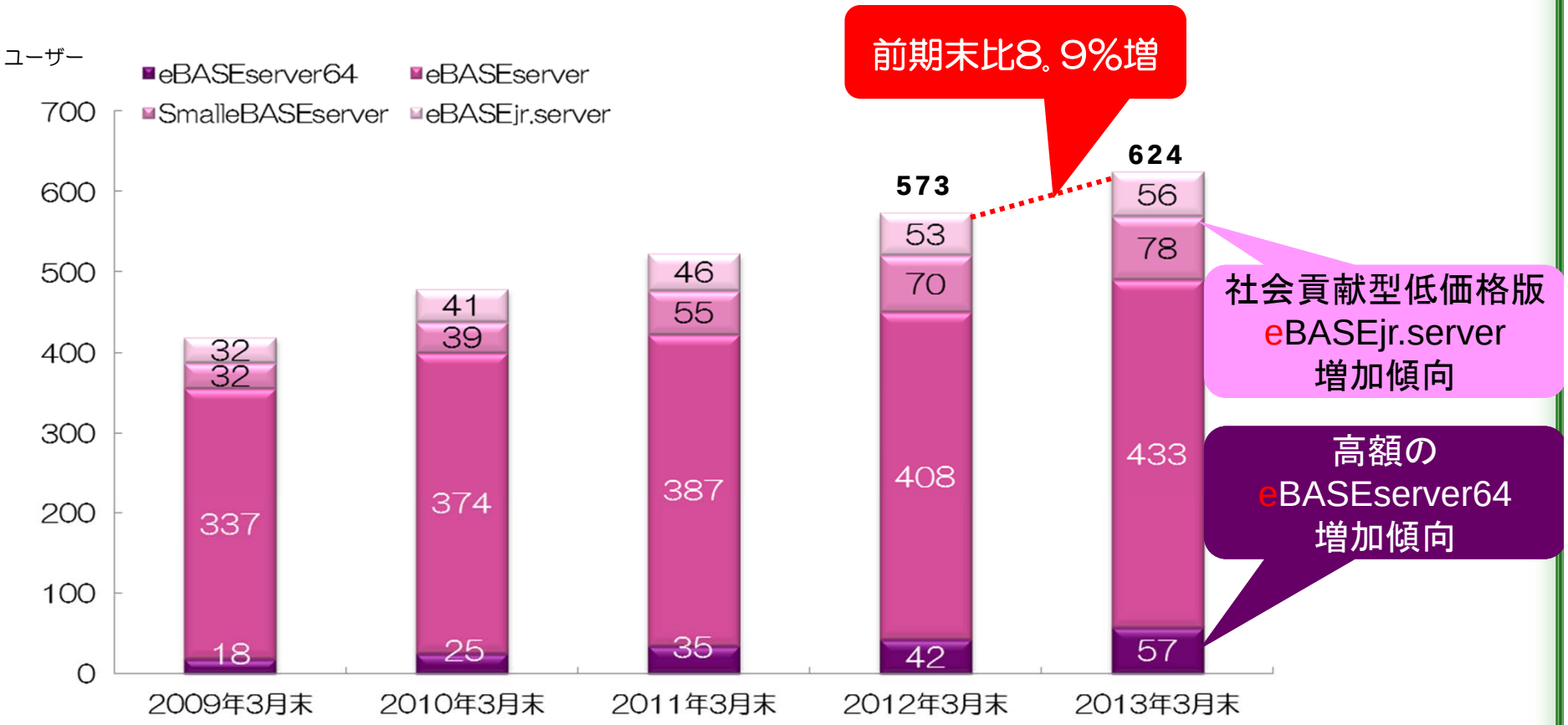
総ユーザー数（2013年３月末現在）



eBASEserverユーザーの推移/eBASE事業

無償ソフトeBASEjr.ユーザーによる
最上位eBASEserverへの自発的グレードアップを促進！

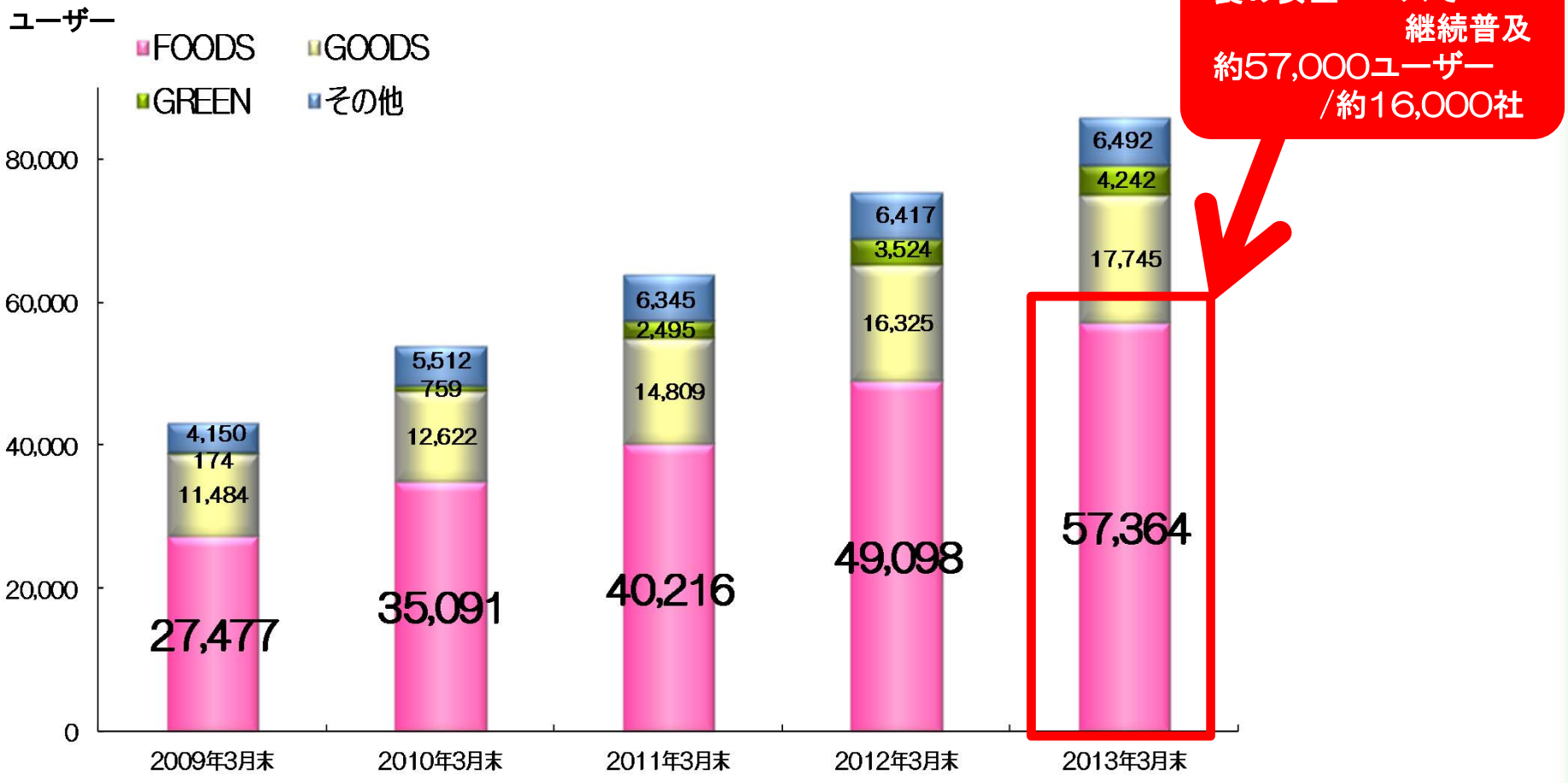
累計ユーザー数（2013年3月末現在）



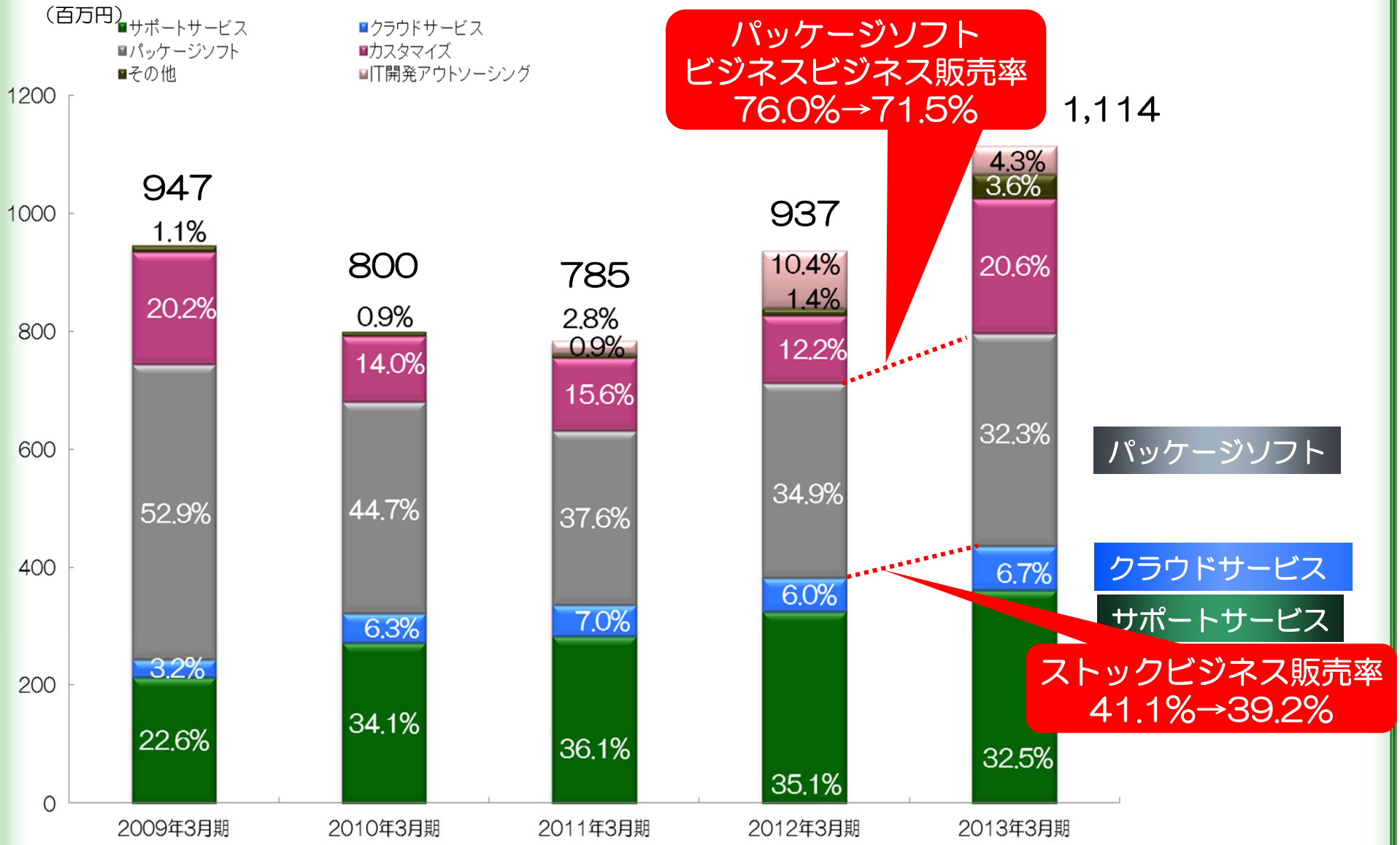
業界別ユーザー数の推移/eBASE事業

幅広い業界で商品情報交換の標準プラットホームとして普及!

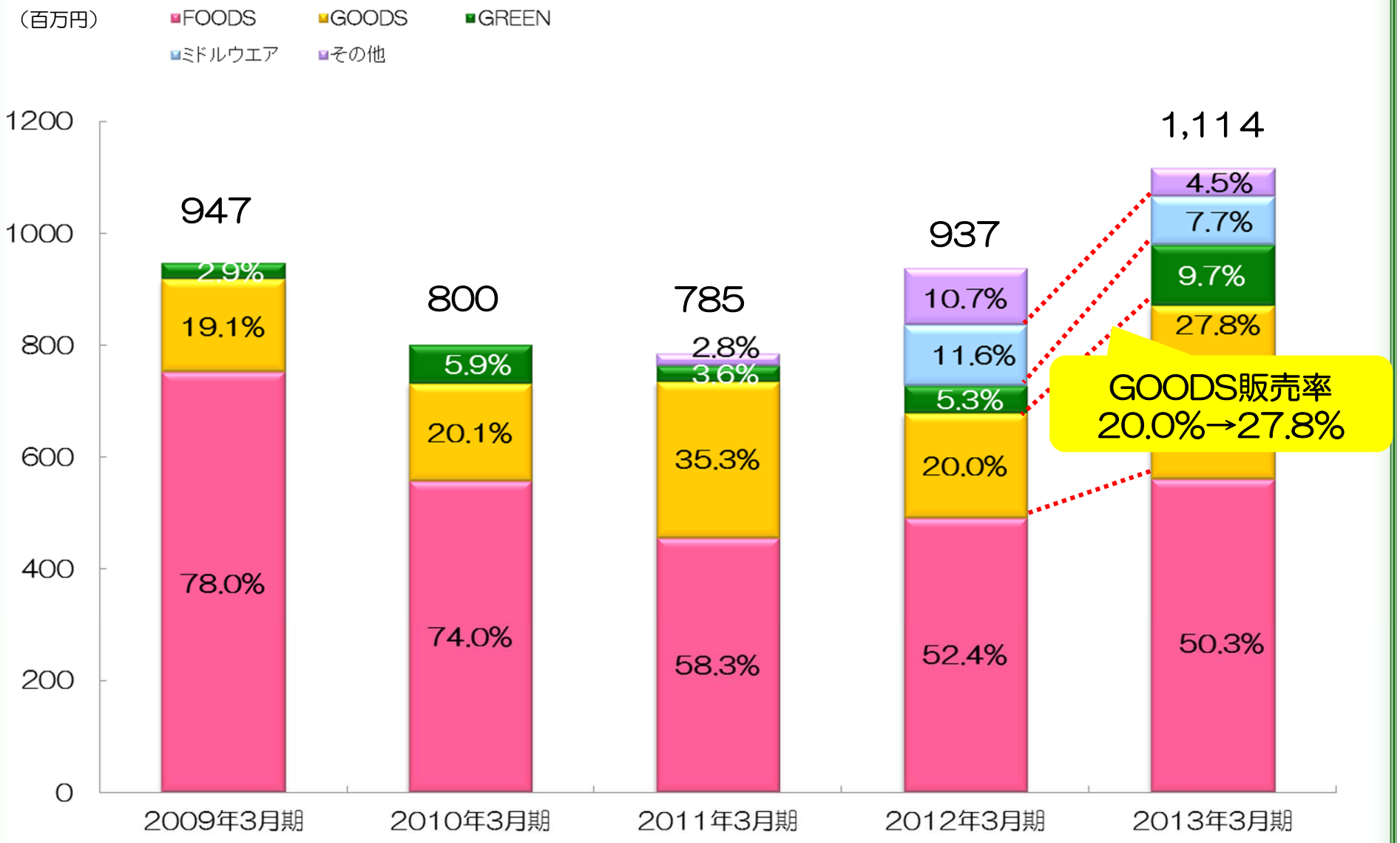
総ユーザー数（2013年3月末現在）



種類別販売実績の推移/eBASE事業



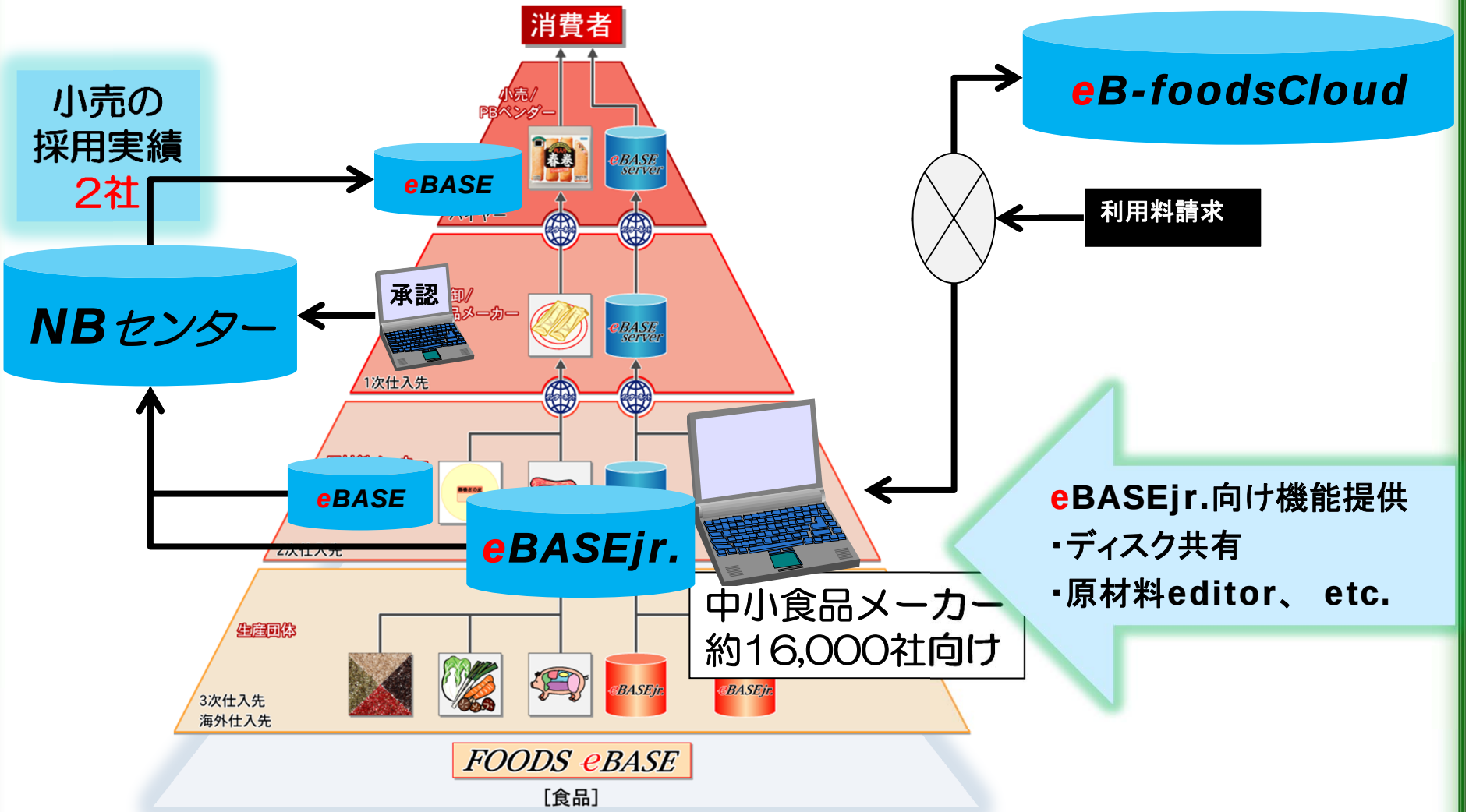
業界別売上実績の推移/eBASE事業



2013年度施策とその結果報告／eBASE事業

業界	2013年度施策	その結果
FOODS	• 売上目標値：eBASE事業内比率/約46% • 現事業モデルの推進 • クラウド＆ストックビジネスの推進	• 売上実績：eBASE事業内比率/　約50% • eBASE商品情報交換の普及で、採用増加 • 他システム連携で、アップセル、クロスセル • 「NBセンター」の拡販を推進（2社） • スーパーで、クラウド採用増
GOODS	• 売上目標値：eBASE事業内比率/約21% • 現事業モデルの推進 • 「ミドルウェアeBASE」を使った カスタマイズ型商品DBの受注強化	• 売上目実績：eBASE事業内比率/　約28% • 特化した業界への攻略アプローチを継続推進 • スマホ、タブレット普及でニーズ増傾向、 結果、想定以上に販売増。
GREEN	• 売上目標値：eBASE事業内比率/約10% • 「OR2RISプロジェクト」対応の 「GREEN eBASE」の拡販を推進	• 売上実績：eBASE事業内比率/　約10% • 欧州の債務危機や家電不況による影響で 市場拡大は不調 • 「GREEN eBASE」連携事例の 環境システム受注により計画達成
eBASE ミドルウェア	• 売上目標値：eBASE事業内比率/約19% • 受託開発案件の受注促進 • CMS開発プラットフォーム 「ミドルウェアeBASE」の機能強化	• 売上実績：eBASE事業内比率/　約8% • 「FOODS 」,「GOODS 」が順調に推移 したことから、計画的に注力を抑制 • ミドルウェアeBASEの機能強化
IT開発 アウトソーシングビジネス	• 売上目標値：eBASE事業内比率/約4%	• 売上実績：eBASE事業内比率/　約4%

FOODS eBASEの概要と結果/eBASE事業



- eBASE商品情報交換の普及で、採用増加
- 他システム連携で、アップセル、クロスセル
- 「NBセンター」の拡販を推進　　・スーパーで、クラウド採用増

GOODS eBASEの概要と結果/eBASE事業

工具業界、電材業界、ホームセンター業界、アパレル業界、住宅業界、等

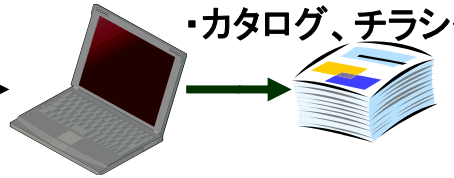
開発ミドルウェア
eBASE
マルチメディアコンテンツ管理
フレキシブルDB構造

顧客別
カスタマイズ型
統合商品DB
システム

eBASEjr.
データ収集機能

基幹系システム連携
・販売管理システム
・物流管理システム
・生産管理システム　等

DTP連携
・カタログ、チラシ作製



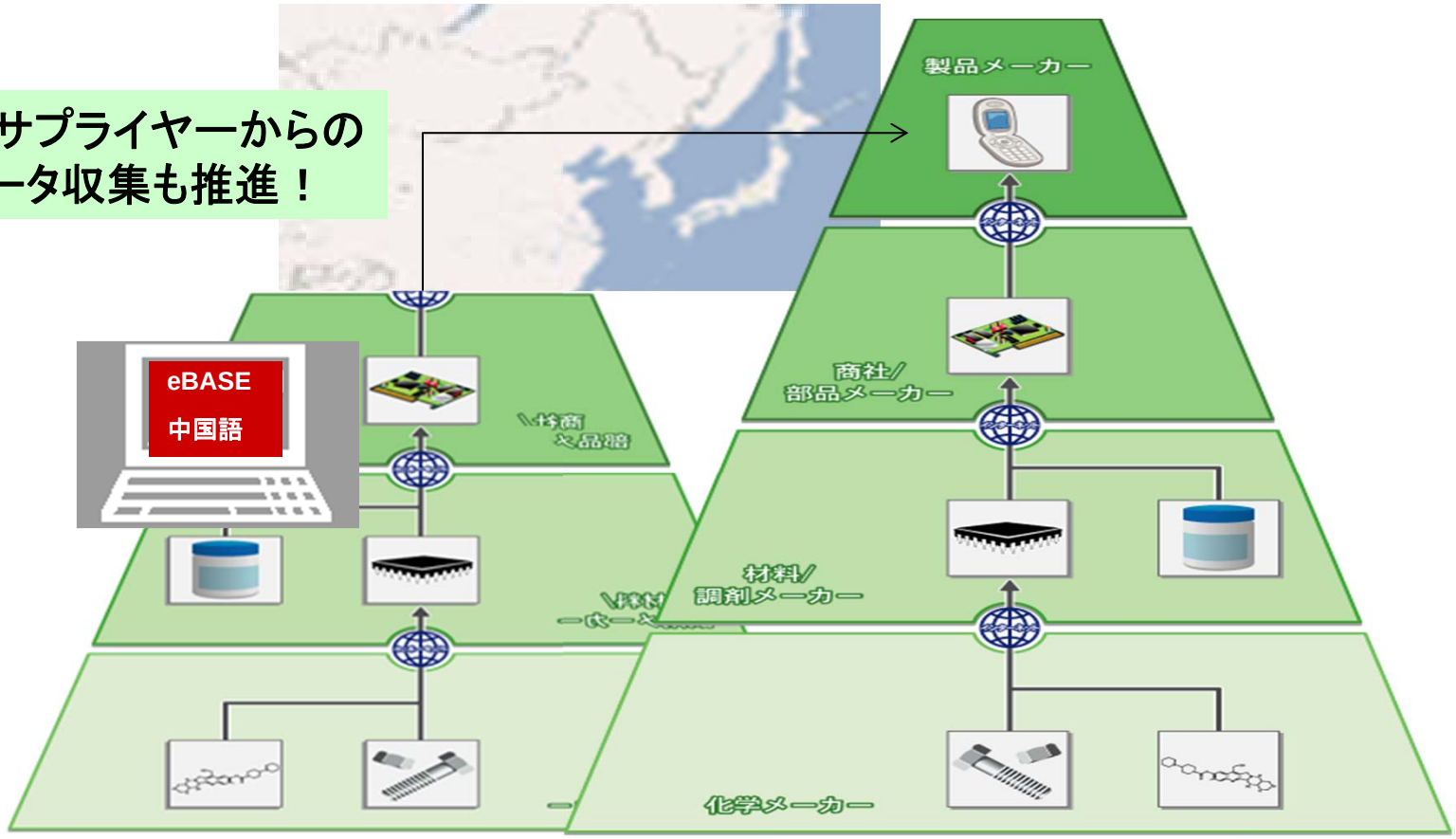
営業支援システム

スマホ/タブレット連携

- 特化した業界への攻略アプローチを継続推進
- スマホ、タブレットの普及で市場ニーズが増加傾向、想定以上に販売増

GREEN eBASEの概要と結果/eBASE事業

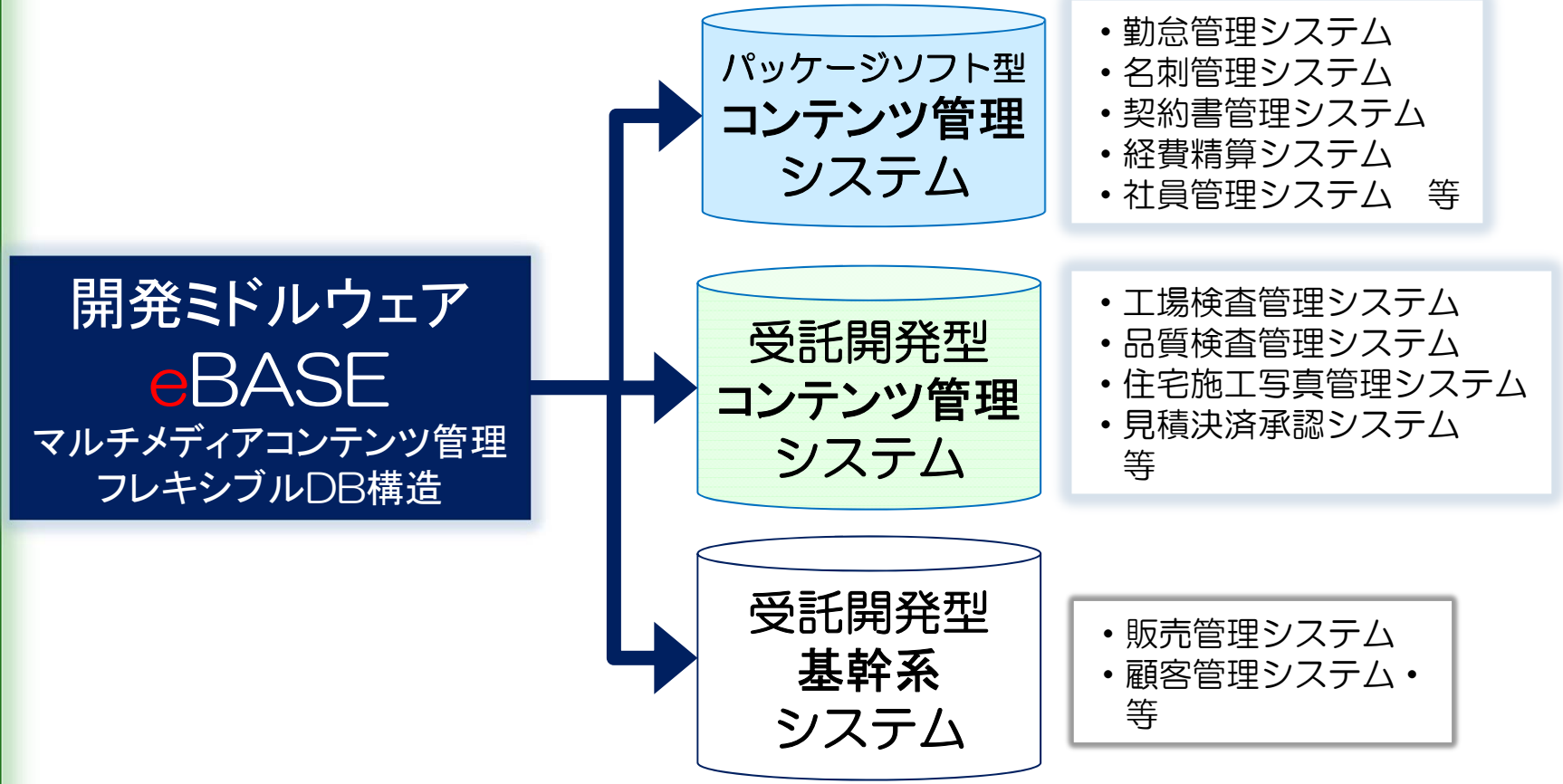
中国サプライヤーからの
データ収集も推進！



GREEN eBASE
［家電、 情報機器、化学物質、等］

- 欧州の債務危機問題や家電不況による影響で市場拡大が不調
- 「GREEN eBASE」の連携事例による環境システム受注により計画達成

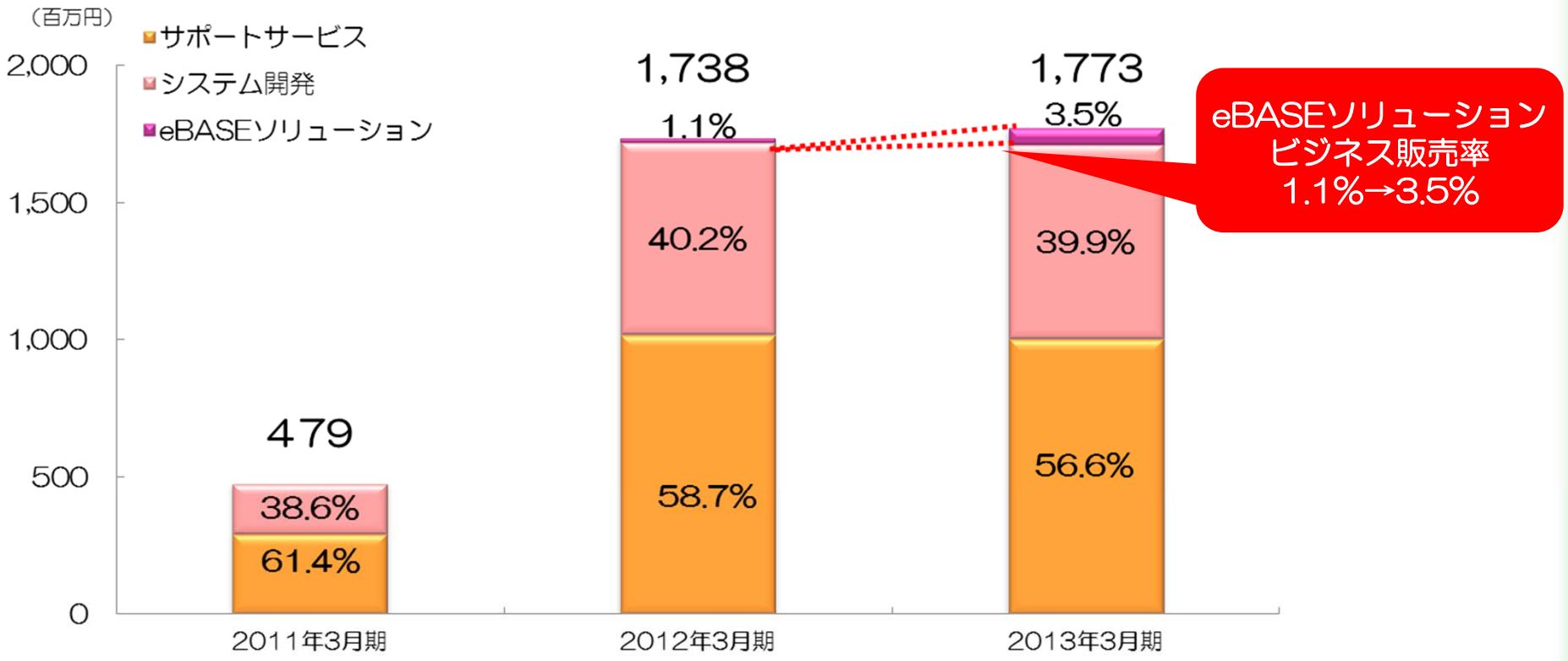
eBASEミドルウェアビジネスの概要と結果/eBASE事業



- パートナー企業の開拓や基幹系サブシステムの受注促進
- eBASEノンプログラミング開発環境の機能強化を継続
- 「FOODS eBASE」、「GOODS eBASE」が順調なため、計画的に注力を抑制

eBASE-PLUS事業報告

ソリューションビジネス別販売実績の推移

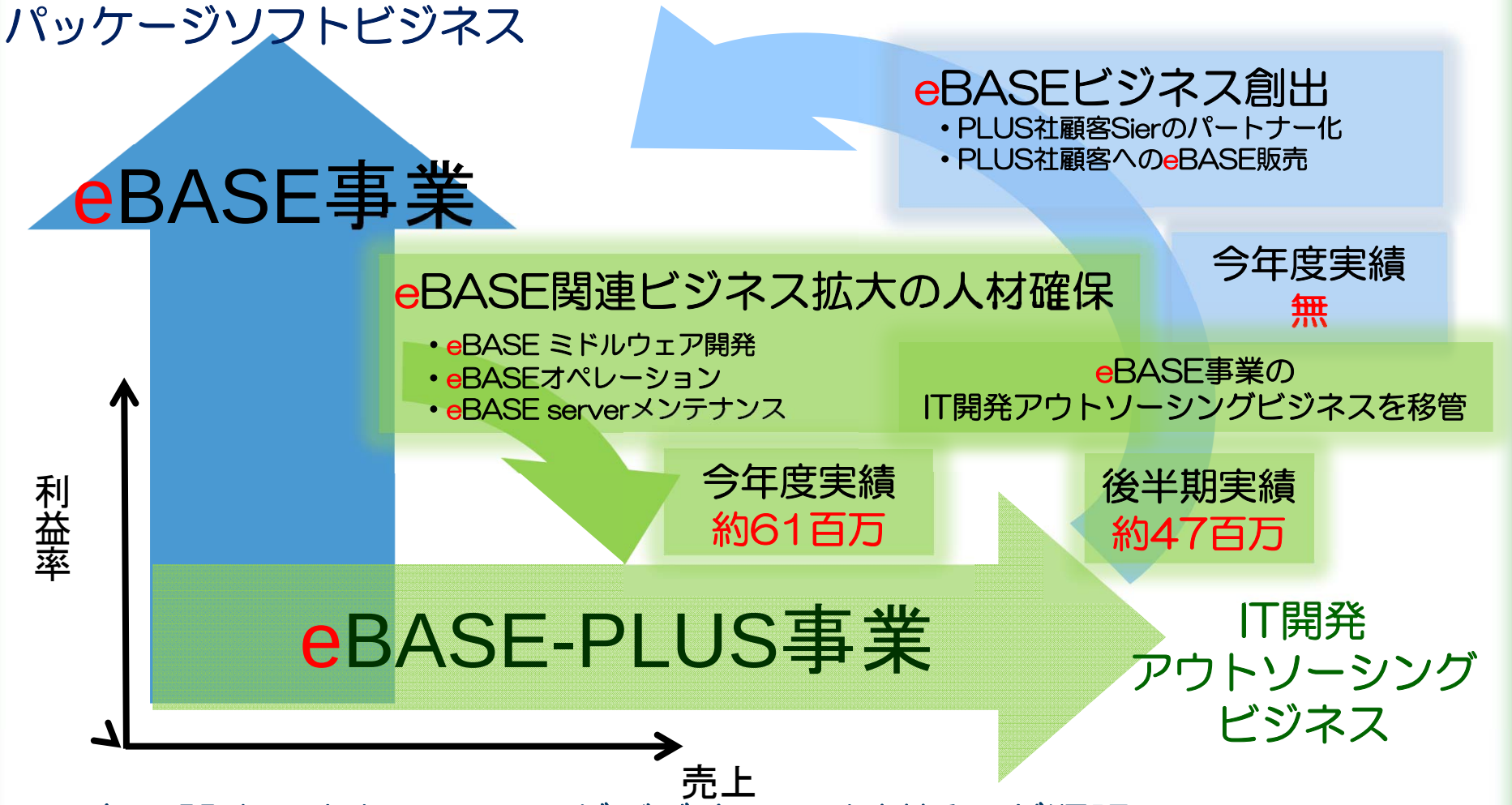


（注） 2011年3月期 第4四半期に事業譲受を行っております。
連結でのセグメント間取引については、相殺消去しておりません。

2013年度施策とその結果報告/eBASE-PLUS事業

業界	2013年度施策	その結果
IT開発アウトソーシングビジネス	・現事業モデルの推進	・既存IT開発アウトソーシングビジネスの人材採用が順調 ・第３四半期より、eBASE事業のIT開発アウトソーシングビジネスをeBASE-ＰＬＵＳ事業に移管（約47百万）
eBASEソリューションビジネス	・eBASE関連ビジネスの人材確保 ・eBASEビジネスのeBASE-PLUS社直受注	・eBASE関連ビジネスが増加 約61百万円（前年比＋42百万円） ・eBASEビジネスのeBASE-PLUS社直受注は不調

eBASEソリューションビジネス / eBASE-PLUS事業



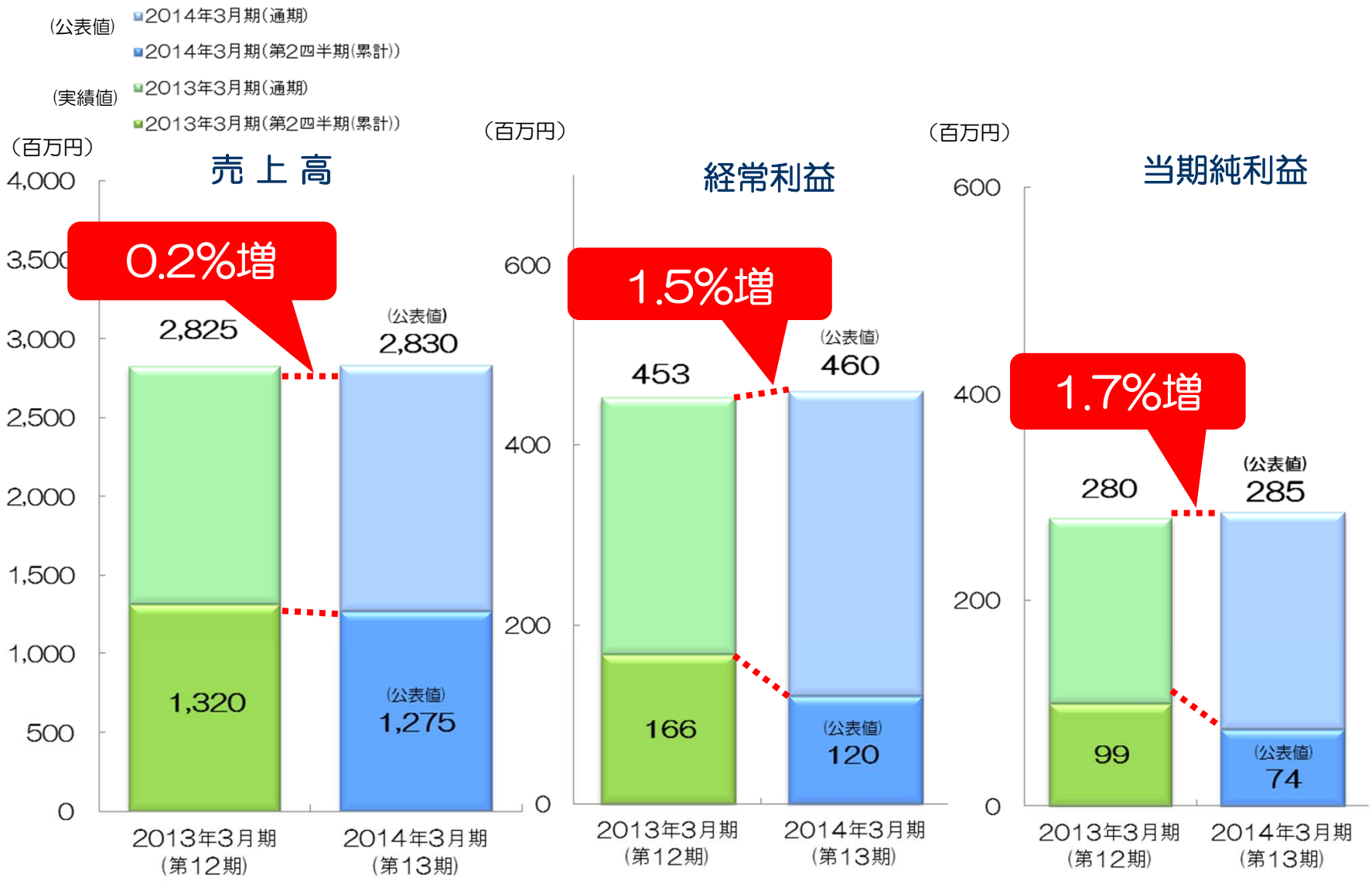
- 既存IT開発アウトソーシングビジネスの人材採用が順調
- 第３四半期より、 eBASE事業の IT開発アウトソーシングビジネスを eBASE-ＰＬＵＳ事業に移管
- eBASE関連ビジネスが増加

2014年3月期
eBASEビジネス展開計画

- 2014年度連結業績予想

- ビジネス展開施策
  - eBASE事業
  - eBASE-PLUS事業

2014年3月期の連結業績予想



2014年度ビジネス展開施策

eBASE事業	2014年度施策
FOODS/ クラウドビジネス	• 売上目標値：eBASE事業内比率/　約55% • 現事業モデルの推進 • クラウド＆ストックビジネスの推進 ネットスーパーでの「NBセンター」活用による商品情報交換の全体最適化を推進 「FOODS eBASE」クラウドビジネスの小売り企業への継続推進 無償eBASEjr.ユーザー向け機能提供
GOODS	• 売上目標値：eBASE事業内比率/　約33% • 現事業モデルの推進 • 「ミドルウェア eBASE」を使ったカスタマイズ型商品DBの受注強化 • スマホ、タブレット対応での「ミドルウェア eBASE」の機能強化
GREEN	• 売上目標値：eBASE事業内比率/　約6% • 「GREEN eBASE」採用企業へ「ミドルウェア eBASE」を利用した深耕営業を推進
eBASE ミドルウェアビジネス	• 売上目標値：eBASE事業内比率/　約6% • パートナー企業の開拓 • 「ミドルウェア eBASE」を利用した受託開発案件の受注促進 • 新市場創造（基幹系システム市場）

eBASE -PLUS事業	2014年度施策
IT開発アウトソーシングビジネス	• 売上目標値：eBASE-PLUS事業　1,720百万 • 現事業モデルの推進 • 安定衰退モデルから低成長モデルへの転換策検討

本資料お取扱い上の注意点

本資料は決算説明及び当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。

IRに関するお問合せ
管理部　　06-6486-3955
management@ebase.co.jp